

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 厚生会

令和4年度 法人事業報告

1. 令和4年度の概況

児童養護施設幸樹園は、社会的養育推進計画に沿って、小規模で家庭的な養育環境を備えた施設の移行を目指して、昨年度移転新築工事を着工し、今年度6月に本園4ユニット・分園・地域小規模児童養護施設2ヵ所（新築・賃貸）が完成し、8月から新しい園舎での生活を開始した。

本園には地域交流ホールや一時保護施設等を有しており、これにより小規模化・多機能化及び地域分散化の養育環境が整った。

今後、社会的養育推進計画の中長期計画の目指す取組みを達成したい。

次に、新型コロナウイルス感染症について、社会では新型コロナウイルスによる感染症が猛威を振るい、令和2年度から感染症対策を継続しているが先が見えない日々が続いた。ワクチン接種は、職員・児童に接種しているが学校や福祉施設など地域においては、多くのクラスターが発生し、予断できない状況が続いた。

当施設でも、4月に2名、12月に1名の児童が新型コロナウイルス感染症の陽性者となった。職員においても同居家族等からの感染及び同居家族が陽性になったことで濃厚接触者となり、感染症対策の更なる強化を図ることで職員は疲弊状態が続き、一日も早い新型コロナウイルス感染症自体の終息を願う一年となった。

また、職員の処遇改善について、新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、毎日施設内の消毒業務を実施したことに対する特別一時金を前年度に引き続き職員に支給した。

また、措置費の単価改正により全職員にベースアップを実施した。

そして、近年、施設の人材確保と育成は大きな課題となっている。今年度は、当初より採用活動に力を注ぎ、短大及び専門校への積極的な雇用活動や他の就職情報サイトへの登録及びホームページのリニューアルなど情報発信に努めた。これにより、来年度の新規雇用者11名の採用が決まった。今後、施設の理念・基本方針に基づき、人材マネジメント・人材育成・人材定着に努め、質の高い福祉サービスが提供できるよう取組むと共に、地域における社会福祉法人の存在意義を持ち、地域の人々や関係機関と協力し、地域共生社会の実現に向けて、永続的な福祉事業を展開する。

2. 理事会の開催状況

第1回 令和4年5月30日（月）

- 第1号議案 監事監査報告
- 第2号議案 令和3年度事業報告に関する件
- 第3号議案 令和3年度決算に関する件
- 第4号議案 定時評議員会の開催に関する件
- 第5号議案 職員に対する臨時手当に関する件
- 第6号議案 施設整備工事代金支払いに伴うつなぎ融資に関する件

第2回 令和4年9月16日（金）

- 第1号議案 定款変更に関する件

第3回 令和4年11月16日（水）

- 第1号議案 児童養護施設幸樹園の新園舎事業開始日及び定款変更に関する件
- 第2号議案 管理規程の一部変更に関する件

第4回 令和5年3月31日（金）

- 第1号議案 県の指導監査報告に関する件
- 第2号議案 福祉サービス第三者評価報告に関する件
- 第3号議案 給与規程の一部変更に関する件
- 第4号議案 管理規程の一部変更に関する件
- 第5号議案 ハラスメント防止規程に関する件
- 第6号議案 就業規則の一部変更に関する件
- 第7号議案 令和4年度法人会計補正予算書に関する件
- 第8号議案 令和4年度施設会計補正予算書に関する件
- 第9号議案 一時保護の受入体制の整備に関する件
- 第10号議案 令和4年度事業計画に関する件
- 第11号議案 職員の人事及び非正規職員等の雇用に関する件
- 第12号議案 令和5年度法人会計当初予算書に関する件
- 第13号議案 令和5年度施設会計当初予算書に関する件

3. 評議員会の開催状況

第1回 令和4年6月18日（土）

第1号議案 令和3年度事業報告に関する件

第2号議案 令和3年度決算報告に関する件

第2回 令和4年10月3日（月）

第1号議案 定款変更に関する件

令和4年度 施設事業報告

開園以来40年余り経過する中、子どもと子育てを取り巻く環境や児童養護施設の置かれた状況も大きく変化してきた。子どもや家庭をめぐる課題は複雑化・深刻化し、親の離婚、貧困、虐待や子どもの発達障害などを背景として、個々の児童の特性に配慮した細やかなケアが求められている。

児童養護施設幸樹園では、国の「新しい社会的養育ビジョン」を受け施設の小規模化、高機能化、多機能化への施設整備が完了し、家庭的養育環境のもと、子どものニーズに合った丁寧なケアの提供に努めた。

今後、施設の基本理念・基本方針・重点目標に基づき、児童の最善の利益のために、養育及び自立支援に取り組む。

1. 児童の状況

・入所・在籍・退所状況

令和4年度措置児童数、月平均32.8名、新規入所児童数4名、退所児童数5名。

一時保護児童数15名、在籍日数253日。

年度末の在籍児童数は、一時保護児童含め35名となった。

2. 令和4年度主な取り組み

(1) 児童の権利擁護

- ① 子どもの権利擁護のWeb研修に全職員参加し、人権感覚を磨き、養育者としての倫理観や責任感を持って児童に対応できるよう資質の向上を図った。
- ② 意見箱を設置し、子どもたちの声の把握に努めた。また、全児童を対象に生活アンケートを年2回行い、困りごとを把握し適宜対応することで、入所児童の生活の質の向上に繋げた。
- ③ 職員の権利擁護意識の醸成と事故等の防止のため、「児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト」を実施した。

(2) 児童の養育・支援

- ① 本園4ホーム・地域小規模児童養護施設2ホームの6チームそれぞれに、小規模化された新しい園舎の生活環境下で児童との対話を大切にしながら、安心かつ安全な日々の生活づくりに取り組んだ。
- ② 様々な生活援助、学習及び進路指導、行事などの余暇活動を行い各関係機関と

連携し、社会的自立や家族再統合に繋がるよう取組んだ。

(3) 家庭支援

- ① 家庭支援専門相談員2名を配置。関係機関と連携し、家族への働きかけや家族からの相談を受けるなど家庭支援に取り組んだ。
- ② 児童と家族の関係再構築のため、面会・外出・一時帰宅などコロナ禍のなか可能な範囲で実施した。これにより家庭引き取りとなった子どもは2名となった。

(4) 里親支援

- ① 児童相談所や里親フォスタリング機関によるフォスタリング業務支援に参加し里親と交流を図った。
- ② 他機関と連携し、広報誌の発刊と里親サロンの運営の充実を図った。
- ③ 園内研修で支援職員に対し、里親制度の理解と里親家庭の養育を支援するネットワーク等について講義することで、情報共有と里親支援専門相談員の業務の理解を図った。

(5) 学習支援

- ① 基礎学力、学習習慣を身につけることを目的として、学習指導者が中学生を対象に週2回個々の学力にあった学習支援を行った。
- ② 学習ボランティア1名が、「それいゆ」ホームの小学生に対し課題を主に学習支援に取り組んだ。

(6) 治療的支援

- ① 6名の子どもの心理治療を実施した。心理治療は、定期的に精神科を受診し、カウンセリングと内服薬の治療を行った。
- ② 虐待やネグレクトなどの不適切な養育を経験した子どもたちは、養育体験等に起因するトラウマや愛着障害に関する問題を抱えている。子どもの精神的・心理的問題の解消や軽減を意図しつつ生活支援に努める。

(7) 自立支援

- ① 施設の退所前の進学・就職等の自立支援及び退所後のアフターケアを担う職員を配置し、入所児童等の退所後の自立に向けた支援の充実を図る。
- ② 自立に向けた相談支援・退所者に対する継続的な状況把握及び相談支援等各関係機関と連携し、対象者20名の支援を行った。

(8) 避難訓練・安全管理

- ① 新園舎の形態に対応するため、防災マニュアル・安全管理マニュアルの見直しを実施し、園内研修において、初動対応や重要業務の役割分担等を明確にし、事前対策・危機管理に努めた。
- ② 避難訓練は、毎月様々な出火場所等を想定し実施した。また、災害を想定した訓練や不審者対策訓練を実施するにあたり、職員連絡網と LINE ネットワークを活用することで、短時間での情報共有と対応が可能となった。
- ③ 新園舎に引越したことで、全職員を対象とした消防設備の使用方法的確認及び体験の機会を設けた。今後も、安心・安全を守ることができよう努める。

(9) 健康管理

- ① 看護師を中心に、診断医師の指示に従った治療や予防・健康管理に取り組んだ。
- ② 新型コロナウイルス感染症について、国や県のマニュアルや手引きをベースに施設内の感染対策マニュアル及び衛生管理マニュアルを随時見直し、園内研修で周知徹底を図った。
- ③ 令和4年度の受診状況は、小児内科 125 件・皮膚科 20 件・歯科 61 件・精神科 68 件・耳鼻科 16 件・眼科 26 件・その他 59 件 総計 375 件、また、新型コロナウイルス感染児童は 3 名となった。

(10) 関係機関連携と地域支援

- ① 五所川原市と子育て短期支援事業委託契約を更新締結。ショートステイの利用実績は延べ人数 3 名となった。
- ② 令和4年度は、保育士資格希望者 15 名の施設実習生を受け入れた。
実習生に対し、きめ細やかな対応支援を行いながら、児童養護施設に興味を持ち、働きたい職場環境を感じられるよう努めた。

(11) 職員の資質と施設運営の向上

- ① コロナ禍で研修開催の中止が多くなる中、Web 研修などを活用し、階層別研修や専門職研修に参加させ、スキルやキャリアアップを図った。
- ② 職員会議、支援会議、リーダー会議、運営会議等各会議を適宜行い情報の共有化を図り、施設運営向上に努めた。

令和4年度 行事一覧

月	行 事	月	行 事
4月	新入学お祝い会 地域清掃	10月	梵珠山登山 ハロウィンパーティー 家庭科クラブ（ハロウィンお菓子作り） 紅葉狩り（ひかり）
5月	小学校運動会 梵珠山登山 ピクニック（はるかぜ・それいゆ・ひかり） 謎解きゲーム会（あかつき） BBQ（すばる） 家庭科クラブ（お菓子作り）	11月	家庭科クラブ（リース作り） ショッピング（すばる） 児童健診
6月	BBQ（あゆむ）	12月	クリスマス会 ショッピング（あかつき） 家庭科クラブ（クリスマス飾り）
7月	新園舎へ引越し	1月	歯科検診 家庭科クラブ（お菓子作り） カラオケ・買い物会（はるかぜ・それいゆ） 映画鑑賞（ひかり）
8月	ホームパーティー（はるかぜ・それいゆ・あゆむ） お楽しみ会（ひかり） 家庭科クラブ（かき氷作り）	2月	豆まき 家庭科クラブ（バレンタインチョコ作り）
9月	自衛隊による演奏会 家庭科クラブ（割り箸鉄砲製作） クッキング（すばる）	3月	卒園生を送る会 家庭科クラブ（フォトフレーム作り） スケート・食事会（はるかぜ） 食事会（すばる・あゆむ・それいゆ） 映画鑑賞（それいゆ） カラオケ（ひかり）

令和4年度 職員研修

月	研修名	内容
4月	園内研修	令和4年度業務の確認
5月	園内研修	児童福祉と社会的養護に関する制度
	新任向け研修	虐待についての子どもたちへの関わり方 愛着障害・ほめ方の基礎
	産業保健関係者研修	こころとからだの健康づくり
	新任向け研修	障害について・障害を持った子への対応
6月	園内研修	児童福祉と社会的養護に関する制度
	新任向け研修	虐待についての子どもたちへの関わり方 愛着障害・ほめ方の基礎
	東北ブロック児童養護施設研究協議会	児童養護施設の在り方、ビジョン・子どもの最善の利益を守り続けるために・今後の児童養護施設に求められるもの
7月	園内研修	移転後の小規模化生活に関して グループワーク
8月	園内研修	防災対策・安全管理
9月	東北ブロック児童養護施設新任職員研修	子どもの支援者のためのアセスメント グループワーク
	全国社会福祉法人経営者大会	人口減少社会と事業展開・人材確保、定着、育成・経営強化実践
10月	園内研修	感染予防・衛生管理
11月	子ども虐待防止要保護児童対策研修会	愛着の器モデルに基づく愛着修復プログラムについて
	青森県児童養護施設協議会職員研修会	より適切な関りを目指すために・問題解決のためのチームアプローチに関する演習・チームをつくるとは
	園内研修	小規模ケアによる職員の孤立や抱え込みを防ぐためにできること グループワーク
	全国児童養護施設長研修協議会	社会的養護施設の役割・愛着障害をめぐって・子どもの幸せのため児童養護施設は何を守ろうとするのか

1 2月	一時保護所指導者研修	一時保護所の理解と役割・子どもの表現する行動からアタッチメントを理解する・一時保護所で苦勞している取り組みから子どもの支援を考える
	園内研修	里親制度の理解・里親家庭の養育を支援するネットワーク
1月	園内研修 子どもの権利擁護	外部講師リモート・グループワーク
	思春期のメンタルヘルスケア	思春期における発達障害の子どもたちへのメンタルヘルスケア
2月	園内研修 復命研修	一時保護指導者研修の内容
	青森県児童相談所等職員研修 オンライン	子どもの虐待対応・愛着アタッチメント トラウマ
	子ども虐待防止セミナー オンライン	日常の支援に活かすアタッチメント理論 親子関係の行動観察からひも解くアタッチメント理論
3月	給食施設栄養管理指導事業研修会	給食施設における不足しがちな栄養素の対応・給食栄養管理の取組
	退所児童等支援事業全国セミナー	退所児童をめぐる施策の動向 実践報告